

ねらい

身近な話題や場面などの内容について聞き取る力を育成するとともに、聞き取った英語をもとに自分自身について表現する力を育成する。

学習指導要領における内容

〔ア 聞くこと〕

- (ア) 強勢，イントネーション，区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく聞き取ること。
- (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて，情報を正確に聞き取ること。
- (オ) まとまりのある英語を聞いて，概要や要点を適切に聞き取ること。

授業アイデア例

3 これから，(1)～(3)の対話を放送します。対話を聞いて，それぞれの質問の答えとして最も適当なものを，ア～エの中からそれぞれ一つ選び，その記号を書きなさい。

対話は2回くり返します。

(1) どのような場面の対話ですか。

- ア 友だちについて話をしている場面
- イ 自分について話をしている場面
- ウ 学校について話をしている場面
- エ 兄弟について話をしている場面

TomがWho is that boy?と聞いていることや，My brother plays basketall,too.と応答していることに着目させる。

Tom : Hi, Lisa. Who is that boy?
 Lisa : He is my brother Paul. He is a good basketball player.
 Tom : Oh, really? My brother plays basketball, too.

(2) 二人は，だれについて話をしていますか。

- ア メグの兄
- イ マイクの兄
- ウ メグの友だち
- エ マイクの友だち

MikeがWho is he?と聞いていることや，MegがHe is my friend.と応答していることなどに着目させる。

Mike : Hi, Meg.
 Meg : Hi, Mike. Do you know Ken?
 Mike : No, I don't. Who is he?
 Meg : He is my friend.
 Mike : Does he play the piano?
 Meg : No, he doesn't. But he plays the guitar.

(3) 二人は，何について話をしていますか。

- ア 好きな食べ物
- イ 好きな教科
- ウ 好きな動物
- エ 好きなスポーツ

内容を把握するキーワードとなるEnglishやJapaneseなどの名詞や，studyやlikeなどの動詞を聞き取らせる。

Sam : Hi, Yuki. Do you study English every day?
 Yuki : Yes, I do. I like it.
 Sam : Oh, good. I like Japanese. I study it every day, too.

Pre-listening activities

スキーマを形成し，教材への興味・関心を高める。
 ピクチャー・チャートを活用し，教師と生徒間のインタラクションを図りながら，聞き取る英語の概要を把握させる。
 キーワードや内容を把握するために必要な語彙や表現をフラッシュカード等を用いて導入する。

During-listening activities

強勢やイントネーションなどに留意させ，英語を聞き取らせる。
 CDを活用したり，JTEとALTで役割を分担して英語を聞かせる。
 聞き取る視点を明確にする。
 聞き取った内容についてメモを取らせる。

Post-listening activities

メモをもとに聞き取った英文を再生させる。
 聞き取った内容について，True - FalseやQuestions & Answersなどで内容理解の確認を行う。
 音読の練習などを行わせる。
 対話文の表現を用いて，自分自身のことについて対話を行わせる。

授業の展開例

学習過程	生徒の活動	留意点
1 Start(Greetings)	1 英語で元気よくあいさつをする。 ・ How are you? - I'm fine, thank you. And you?	・ 英語学習の雰囲気をつくる。
2 Warm-up <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 5px; font-size: small;">外国語活動で慣れ親しんだ活動などを取り入れ、本時で取り扱う語彙を用いた言語活動を行うようにする。</div>	2 本時の教材に関わる内容について英問英答を行う。 ・ What sports do you like? - I like baseball. ・ Do you play it? - Yes, I do.	・ 語彙や表現にそった絵や写真を活用しながら、本時で聞き取る内容についてスキーマを形成させる。
3 Grasping Task	3 本時のタスク(目標)を確認する。 ・ 「聞き取った英語をもとに、身近なことについて対話をしよう。」	・ 本時の目標及び学習の流れを把握させる。
4 Oral Interaction <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 5px; font-size: small;">聞き取らせる語彙や表現を生徒から引き出すように英語で質問する。</div>	4 教師とオーラル・インタラクションを行い、聞き取る教材の概要を把握する。 ・ 教師の英語の質問に応答しながら教材の概要を把握する。	・ ピクチャー・チャートを活用し、登場人物や場面などを把握できるようにする。
5 Words & Sentences <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 5px; font-size: small;">ICTやフラッシュカードの活用を図るなど、効果的に語彙や表現を導入する。</div>	5 基本的な語彙や表現を確認する。 boy, brother, player, friend, English, Japanese, know, study, like, Who ~? , Do you know ~?など	・ キーワードや内容を把握するために必要な語彙や表現を ICT やフラッシュカード等を用いて導入する。
6 Listening <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 5px; font-size: small;">聞き取りのヒントになる listening pointsなどを与える。</div>	6 教材の聞き取りを行う。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 5px; background-color: #FFF9C4; font-size: small;">< (例) 指導のポイント > 強勢やイントネーションなどに留意させ、英語を聞き取らせる。 聞き取る視点を明確にする。 聞き取った内容についてメモを取らせる。 CDを活用したり、JTEとALTで役割を分担して英語を聞かせる。</div>	
7 Check of Understanding	7 内容理解の確認を行う。 ・ 教師の質問に答える。 ・ 聞き取ったメモをもとに英文を再生する。	・ True-False や Questions & Answers などを通して、内容理解の確認を行う。
8 Reading Aloud <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 5px; font-size: small;">場面や役割等に留意させ、音読の練習を行わせる。</div>	8 教材である対話文の音読を行う。 ・ ペアで練習する。	・ 強勢、イントネーション等に留意させ、内容が伝わるように音読をさせる。
9 Activity	9 聞き取った英語を用いてペアで自分自身のことについて対話を行う。	・ 対話に活用できる語彙や表現などについてはワークシート等を用いて提示する。
10 Presentation	10 対話の発表を行う。	・ ペアやグループで多くの生徒に発表する機会を与える。
11 Evaluation	11 授業の感想や反省を述べ合う。	
12 Assignment	12 今後の活動の見通しをもつ。	
13 End (Greetings)	13 英語であいさつをする。	

重点事項(「聞くこと」: 大切な部分を正確に聞き取ること)

手がかりとなる語彙や表現をヒントとして与えたり、事前に英問英答を行ったりするなど、Pre-listening activities (聞く前の活動)の充実を図る必要がある。

During-listening activities (実際に聞く活動)においては、強勢やイントネーション、キーワードなどに留意させ、聞き取りを行うよう指導する。